

【樹木の部屋】

ナナカマド（バラ科ナナカマド属 Sorbus commixta）

和名：ナナカマド(七竈) **別名**： **英名**：Japanese Rowan

バラ目 落葉性高木 **原産地**：日本・朝鮮半島

花言葉：慎重、安全、懸命 **花の色**：



← **写真-1** ナナカマドの樹形

撮影日：2013 年 7 月 14 日

撮影場所：ブライエス湖(北イタリア)にて

撮影者：M さん

秋の東北地方を旅行していると、山肌に鮮やかな紅葉と赤い実の美しい風景を見ることができます。車窓からの眺めがほとんどでした。が、今回は、手の届くところに育っていました。



← **写真-2** ナナカマドの枝葉

撮影日：2013 年 7 月 14 日

撮影場所：ブライエス湖
(北イタリア)にて

撮影者：M さん



← **写真-3** ナナカマドの葉

撮影日：2013 年 7 月 14 日

撮影場所：ブライエス湖
(北イタリア)にて

撮影者：M さん



← 写真-4 ナナカマドの実

撮影日：2013 年 7 月 14 日

撮影場所：ブライエス湖(北イタリア)にて

撮影者：M さん

高さ 7～10m 程度になり、夏には白い花を咲かせ、葉は細長くて先がとがり縁に鋸歯がある。小葉が複数集まって一枚の葉となる羽状複葉と呼ばれる形で、その中でも小葉が 9～15 枚の奇数羽状複葉。秋には鮮やかに紅葉し、赤い実を成らせ、鳥類の食用に・・・。果実酒にも利用できる。 備長炭の材料として火力も強く火持ちも良いので作られた炭は極上品とされているそうです。

<ちょっと一言>

和名の「ナナカマド」は、“大変燃えにくく、7 度竈（かまど）に入れても燃えない”ということから付けられたという説や、“7 度焼くと良質の炭になる”という説。食器にすると丈夫で壊れにくい事から“竈が 7 度駄目になるくらいの期間使用できる”という説などもあるそうです。

赤く染まる紅葉や果実が美しいので、北海道や東北地方では街路樹としてよく植えられています。